

AWS INNOVATE 2020 オンラインカンファレンス

「パッケージソフトウェアのSaaS化の潮流と実現のパターン」のクイズおよび回答

AWS INNOVATE 2020のセッションの視聴およびアンケートにご記入頂きありがとうございます。本資料が「パッケージソフトウェアのSaaS化の潮流と実現のパターン」で出題されたクイズの解答になります。

問題：顧客の要望への対応に加え、SaaS化することで事業者にとってどのようなメリットが考えられるでしょうか。本セッションの内容に加え、皆さまの事業や状況なども踏まえてご回答ください。

回答：

事業者のメリットとしてセッションの中では、『開発/保守コストの低減』、『市場の拡大』という事業者の声に加え、ストック型のビジネスモデルを持つことでの『ビジネスの安定化』を挙げさせていただきました。

開発/保守コストの低減については、オンプレミスと違い複数バージョンのソフトウェア対応が不要になるため工数を抑えることが可能ですし、その結果最新版の機能の開発やサポートにエンジニアのリソースを投入することも大きなメリットとして考えられます。また、特にマルチテナント型SaaSのメリットとなりますが、スケールメリットと併せて運用効率を向上させることでサービス提供価格の低減が可能となり、新たな顧客獲得を実現できることもメリットとして挙げられます。

主なメリットは上記の内容となりますが、『エンジニアの採用がしやすくなった』、『企業DNAが顧客満足度重視に変革された』、『他のSaaSとの連携がしやすくなった』など事業者ごとに様々なメリットをお聞きしておりますので、貴社にとってどのような変化/メリットがあるか、本セッション/クイズをご検討のきっかけとして頂ければと思います。